ほぼ週刊コラム「Partnership論」　その５６

**Universalismなくして民主主義なし。**

2013.08.09　齋藤旬（[www.llc.ip.rcast.u-tokyo.ac.jp](http://www.llc.ip.rcast.u-tokyo.ac.jp)）　rev.1

　**先回、「universalismなくして**[**private company law reform**](http://www.amazon.co.jp/Private-Company-Law-Reform-International/dp/906704251X/ref%3Dsr_1_1?ie=UTF8&qid=1374129613&sr=8-1&keywords=private+company+law+reform)**なし」と書いた。**今回はこれと似たことだが、先の参院選の結果を踏まえて「universalismなくして民主主義なし」ということを、短く、述べることにする。

**「与党2540万5639票、 野党2766万6873票」**。先の参院選のこの結果を見ると、大半のメディアが伝える「自公圧勝」は「浅い」分析であって、実際は「有権者の半分以上が野党に投票していたにもかかわらず、自民・公明が大勝してしまった」というのが真相により近い分析だ。

原因は、争点が多岐にわたったことだ。「憲法改正」「消費税増税」「ＴＰＰ」「年金と雇用」「非正規雇用」「原発」など、争点ごとに人によって意見が激しく分かれ、争点全体としては「多数意見」となる賛否の組合せが、社会全体ではpeakyには存在しなくなったのが原因だ。

一般にはこの様に、人によって意見が分かれる問題が（三つ以上の）沢山あるとき、多数決などを使って、社会全体の整合性を図った意志決定をするのは「不可能」となる。これを「アローの不可能性定理」という。論理学を精緻に使って証明した「定理」であり、ケネス・アローがこの定理発見の業績でノーベル経済学賞を受賞した。Webをザッと見ると、[これ](http://www.anlyznews.com/2012/04/blog-post.html)などが分かりやすく説明している。

**では、争点が自然と多岐にわたる21世紀社会、「民主主義」はもはや不可能なのか**？　･･･というと、そうでもない。･･･というか、西洋では民主主義がますます勢いを増している。

少し前、十数年前の、英国New Laborのブレア政権や米国New Democratのクリントン政権などを思い出せば分かるし、あるいは現在の、米オバマの民主党政権や独メルケルのCDU・CSU連立政権が良い例だが、むしろ、民主主義がますます勢いを増している。

なぜだろうか？　民主党が事実上崩壊した日本から見るととても不思議だ。「アローの不可能性定理」を打破する、何か秘密が西洋社会にはあるのだろうか？

**本コラムの読者には、私の言いたいことはもうお分かりだろう**。そう、universalism、united diversity、「多様にして一つ」の「心構え」だ。

人智の及ばぬ「超越存在」の前では、我々人間の意見の食い違いなどチッポケなものに過ぎないのではないか。

ただ、勿論、一人一人のspirit（精神あるいは魂）の中には、何かとても大事なものが秘められているかもしれない。いや、秘められているに違いない。だから「意見が食い違うこと」そのものは大事にしなければならない。意見統一を簡単にしてはいけない。Diversity（多様性）は保たなければならない。全体主義は絶対禁物！

しかし、一人一人が自分の意見に「拘泥」してもいけない。むしろ、subsume（包摂）を心がけるべきだ。人智の及ばぬ「超越存在」の前では、私と貴方の意見の違いは小さいに違いない。人間の身には想像もつかないが、「大きな大きな度量」をもったつもりになって、一人一人が各自相手の主張する「私と違う意見」をunderstandする（～～の下に立つ。「理」で解す、あるいは、「心」で分かる。）ように心がけよう。･･･という「心構え」だ。

**勿論、このuniversalism、途方もなく難しいのだろう**。しかし、不可能ではない。現に西洋社会では実践されている。民主主義がますます盛んになっている。だったら、日本人もトライしてみようではないか。

もしうまくいって、日本人がuniversalismを身につければ、[**private company law reform**](http://www.amazon.co.jp/Private-Company-Law-Reform-International/dp/906704251X/ref%3Dsr_1_1?ie=UTF8&qid=1374129613&sr=8-1&keywords=private+company+law+reform)に向かっても一歩前進できるのだし･･･。

私には、こんな事がソコハカトナク感じられた先の参院選 --- 民主主義の惨状であった。

今週は以上。先週、先々週と夏休みを頂いた。有り難う。充電できたと思う。ただ、来週はお盆休みの週ということでまたまた休刊予定としたい。ということで、来来週、乞うご期待。